

「60歳からの主張」を募集

明年成人の日に発表、「社会保障構造改革」などの意見を募集。 全国老人福祉施設協議会

今年、戦後の日本は還暦を迎えました。そして昭和で数えると、「傘寿」で80年の節目となります。超高齢社会を見据え、正面から向き合うのにふさわしい年でもあります。

内閣府が昨年行った世論調査によりますと、「今後、政府は何に力を入れるべきか」という質問に「医療・年金等の社会保障構造改革」を挙げたひとが前年調査より増えて最も多く、以下は「景気対策」「高齢社会対策」「雇用・労働問題」「犯罪対策」の順でした。直面する超高齢社会は、活力ある長寿社会か、衰退へ向かう老人社会か、今まさに歴史の分岐点にあると言っても過言ではありません。

そこで全国老人福祉協議会（会長 中村博彦）では、来る平成17年9月19日(月)敬老の日から、11月20日(日)まで、60年の人生で見聞し、経験されたそれぞれの＜味わい＞＜深みを持った＞多様なご意見を「60歳からの主張」というかたちで募集することになりました。

60歳以上の皆さんから、重ねた年齢にふさわしい自由闊達、そして超高齢社会に向けた＜60歳からの主張＞を募ります。

全国老人福祉施設協議会は、70年余の歴史をもち、高齢者の福祉・介護を担ってきた団体です。今回の「60歳からの主張」を通して、これからの高齢者が何を考え、何を求めているのかを学び、これらを我々のサービス向上に役立てるとともに、我が国の21世紀高齢化施策に反映するよう活動してまいりたいと考えております。

応募要項は別紙の通りです。

連絡・照会先

「60歳からの主張」運営事務局

・マスコミ専用 TEL 03-3206-2644 担当：牧岡

・一般専用 TEL 03-3555-2727 月曜日～金曜日の平日 10～17時(12～13時を除く)

「60歳からの主張」応募要項

項目	内容
テーマ	A「社会保障を考える」
	B 自由課題 「超高齢社会を生きる」 「“60歳”からのエンジョイライフ」 「次の世代に伝えたいこと」 など政治、社会、文化、スポーツなど、どんな意見でも可。
審査員(予定)	赤瀬川原平(作家) 阿久悠(作家・作詞家) 田中一昭(拓殖大学政経学部教授)
応募資格	満60歳以上の男女(1945年1月1日以前に生まれた方) 国籍その他の資格は問いません。
応募締切	2005年11月20日消印有効
原稿枚数	1500字以内。ワープロ原稿可。
応募方法	表紙に題名、住所、氏名、性別、生年月日、電話番号(メールアドレスのある場合はそれも)、略歴を明記し、郵送または宅配便にてご応募ください。ハガキでの応募も可。
賞	大賞(1名。賞状・楯・賞金100万円)ほか
発表	2006年1月9日(成人の日)東京都内で発表と表彰を行う予定(会場未定)
その他	応募作品は返却いたしません。必要な方はあらかじめコピーをおとり下さい。受賞作品の著作権その他すべての権利は、主催者に帰属します。

応募先 : 〒104-8552 東京都中央区新富 1-14-8 松永新富ビル 4F
 「60歳からの主張」事務局

主催 : 全国老人福祉施設協議会